



# エネルギーの新しい価値観創造と展開

## 令和4年度における活動実績・成果の概要

### ①「みやぎZEB研究会」主催のZEB建築物現地見学会の実施

本学の学際研究重点拠点である「エネルギー価値学創生研究推進拠点（拠点長 土屋範芳教授）」が主管している「みやぎZEB研究会」による、宮城県内におけるZEB建築物の現地見学会を2回行った（図1）。なお本事業は、宮城県環境生活部主管の「みやぎ地中熱利用研究会」との連携事業でもある。

- ・第1回現地見学会（令和4年10月26日）東北ボーリング株式会社新社屋（仙台市若林区）
  - ・第2回現地見学会（令和4年11月17日）日本地下水開発株式会社新社屋（山形県山形市）
- 上記2つの建物は、環境科学研究科が所有する、東北地方で初めての『ZEB』でもあるエコラボのコンセプトが継承されており、現地見学会を通じて、本学発の脱炭素に関する技術や理念が社会実装されていることを内外に示す良い機会となった。

### ②「東北大学エネルギーシンポジウム」の開催

令和4年12月5日に、“地域脱炭素と持続可能なエネルギーシステムの共創が紡ぐ未来”を副題として東北大学エネルギーシンポジウムを開催した（図2, 3）。今年のシンポジウムでは、環境省が進めている脱炭素先行地域づくりをテーマとし、すでに採択された先行地域の概要とその将来像を関係者よりご紹介いただき、さらに本学における最新のエネルギーシステム研究や電力会社の進める脱炭素計画について紹介した。当日はハイブリッド開催とし、163名の方々にご参加いただき盛況であった。なお当日の講演は、環境科学研究科環境研究推進センターの下記のyoutubeにて公開している。

<https://www.youtube.com/@user-jy6qh4kf2b>

### ③西村環境大臣、村井宮城県知事を表敬訪問 本学のカーボンニュートラルの取組を説明

令和5年1月18日に村井嘉浩宮城県知事（図4）を、また令和5年3月22日には西村明宏環境大臣（図5）を表敬訪問し、本学におけるカーボンニュートラルの取組、環境科学研究科の活動内容を説明し、併せて、宮城県や我が国における地中熱利用に関する政策提言などを行った。



図1 みやぎZEB研究会主催 第1回現地見学会。



図2 東北大学エネルギーシンポジウム。



図3 東北大学エネルギーシンポジウムのパンフレット。



図4 西村環境大臣への説明。



図5 村井宮城県知事への表敬訪問。